

2021年12月25日 伊丹ルーテル教会 キャンドル礼拝プログラム

メッセージ：正木牧人

聖書朗読：佐々木一仕

音楽：上田望 橋本浩子 高力葵

前奏・キャンドル点火：いま来たりませ

聖書：ヨハネの福音書 1：1-5

ルターの祈り

愛する天の父なる神様、あなたにお願いいたします。

ダビデの子としてクリスマスにお誕生くださった、あなたの愛しておられる御子イエス様は、私たちのための幸せを備えてくださっています。

どうぞ、イエス様を私たちのもとに今夜お遣わしてください。

イエス様は私たちを守り、私たちに恵みを与えてくださいます。

父なる神様、あなたがお遣わしくくださるイエス様によって私たちが幸せをいただくとき、あなたの御名があがめられ、あなたの御名に栄光が帰せられます。

私たちは、喜んで主イエス・キリストを迎え入れます。

「ホサナ、神様に栄光が帰せられますように！」と賛美を歌う「小さな群れ」となります。

そして、私たちは、ダビデの子、私たちの王でいらっしゃるイエス様を信じるものとなり、周りの人々から「キリストに信頼する人々」と呼ばれる者となります。

私たちは、イエス・キリストのお名前によって洗礼にあずかり、

イエス・キリストの血によって、すべての罪をきれいに洗っていただきました。

ですから、どうぞ私たちを助けてください。

私たちがキリストに信頼する者であり続けることができますように。

そして、愛する御子イエス様が再び来てくださるときには

喜びをもってお迎えすることができるように、支度を整えて、目を覚ましていることができますように。

父なる神様、私たちはあなたの御子イエス・キリストに罪を赦されてあなたの子どもとされました。

すみきった心で、あなたをおそれ、あなたを愛し、あなたを信頼し続けることができますように
どうぞ導いてください。

この祈りをイエス様の御名によって祈ります。アーメン。

交読文：36 イザヤ書 11 章より

エッサイの株より一つの芽いで、

その根より一つの枝生えて 実を結ばん。

その上に主の霊とどまらん、

これ知恵聡明（ちえそうめい）の霊、謀略才能（ぼうりゃくさいのう）の霊、知識の霊、
主をおそるるの霊なり、

彼は主をおそるるをもて 楽しみとなし、

また目みるところによりて審（さば）きをなさず、

耳きくところによりて 定めをなさず、

正義をもて貧しき者をさばき、

公平をもて 国のうちのいやしき者のために 定めをなし、

その口の杖をもて国をうち、

その唇の息吹をもて 悪しき人を殺すべし。

正義はその腰の帯となり、

忠信は その身のおびとならん。

狼（おおかみ）は子羊と共にやどり、

豹（ひょう）は 小山羊（こやぎ）とともに臥（ふ）し、

小牛（こうし）、雄獅子（おじし）、肥たるけだもの共におりて、ちいさき童（わらべ）に
みちびかれ、

雌牛（めうし）と熊とは 食べ物を共にし、

熊の子と牛の子と共にふし、

獅子は 牛の如く わらをくらい、

乳飲子（ちのみご）は毒蛇（どくじゃ）の洞（ほら）にたわぶれ、

乳ばなれの子は 手を まむしの穴に入れん。

かくてわがきよき山のいずこにても、

そこなうことなく 破ることなからん。

そは水の海をおおえるごとく、

主を知るの知識、地に満つべければなり。

讃美歌：96 エサイの根より

1 エサイの根より 生いいでたる
くすしき花は さきそめけり
わが主イエスの
うまれたまいし このよき日よ

2 イザヤの告げし 救い主は
きよき母より 生まれましぬ
主のちかいの
今しも成れる このよき日よ

聖書：受胎告知 ルカによる福音書 1：26-38

讃美歌：97 あさひはのぼりて

- | | |
|---|--|
| 1 朝日はのぼりて 世を照らせり
暗きにすむ人 きたりあおげ
知恵に富みたる主 世にいでたり
愚かなる人は きたりまなべ | 2 力にみつる主 世にのぞめり
かよわき人々 きたりたのめ
安きを賜う主 世にくだれり
苦しめる人は きたり受けよ |
|---|--|

聖書：降臨 ルカによる福音書 2：1-7

讃美歌：108 いざうたえ

- | | |
|--|--|
| 1 いざうたえ、いざいわえ
うれしきこのよい
かみのみ子 あらわれぬ
いざほめたたえよ | 2 いざうたえ、いざいわえ
たのしきこのよい
すくいぬし 世にいでぬ
いざほめたたえよ |
|--|--|

聖書：荒野の羊飼い ルカによる福音書 2：8-14

讃美歌：106 あらののはてに

- | | |
|--|-------------------------------------|
| 1 あらののはてに 夕日は落ちて
たえなるしらべ 天（あめ）よりひびく | 2 ひつじをまもる 野べのまきびと
あめねる歌を よろこびききぬ |
|--|-------------------------------------|

★繰り返し★

グローリア イン エクセル シス デオ
グローリア イン エクセル シス デオ

聖書：東方の博士 マタイによる福音書 2：1-11

讃美歌：115 ああベツレヘムよ

- | | |
|---|---|
| 1 ああベツレヘムよ ほかひとり
星のみ匂いて ふかく眠る
知らずや今宵 くらき空に
とこよのひかりの 照りわたるを | 2 ひとみな眠りて 知らぬまにぞ
み子なるキリスト うまれたもう
あしたの星よ 歌いまつれ
「神にはみ栄え、地には平和」と |
|---|---|

聖書：神のしもべ フィリピの信徒への手紙 2：1-11

讃美歌：111 神の御子は

- | | |
|---|---|
| 1 神の御子はこよいしも
ベツレヘムに生まれたもう
いざや友よ もろともに
いそぎゆきて拝まずや | 2 おとめマリア 母として
生まれししみどりごは
まことの神 きみの君
いそぎゆきて拝まずや |
|---|---|

聖書：まことの光 ヨハネによる福音書 1：1-15

讃美歌：109 きよしこの夜

- | | |
|--|--|
| 1 きよしこの夜 星はひかり
救いの御子は まぶねの中に
眠りたもう いとやすく | 2 きよしこの夜 みつげうけし
まきびとたちは 御子の御前に
ぬかずきぬ かしこみて |
|--|--|

メッセージ：「光は闇の中に輝いている」

私たちの父なる神様と御子イエス・キリストから、恵みと平安が豊かにありますように祈りつつ、御言葉をとりつぎます。

クリスマスキャンドルサービスによろこおいでくださいました。クリスマスには光があふれていますね。クリスマスツリーはイルミネーションが美しく飾られます。世の光としてお生まれになったイエス様の誕生を祝います。クリスマス、おめでとうございませう。お互いにご挨拶をしましませう。クリスマス、おめでとうございませう。

光は闇の中に輝いています。クリスマスにお生まれになったイエス様を礼拝するために遠く東の国からベツレヘムを訪ねた博士たちは、暗く寒い夜空に輝く星の光に導かれてはるばるイエス様のおられる家にたどり着くことができました。

光は闇の中に輝いています。真っ暗な野原で夜通し羊の群れの番をしていた羊飼いたちに、突

然神様の栄光が照らして天使たちがイエス様のお誕生の知らせを告げました。羊飼いたちは急いでベツレヘムに行って飼葉おけに寝かせられた乳飲み子、イエス様を探し当てました。

光は闇の中に輝いています。クリスマスは光として来てくださったイエス様をお迎えしてお祝いする日です。イエス様はすべての人を照らすことの光として、暗い世に来てくださいました。イエス様は光として私たちに照らします。それでクリスマスには光があふれているのです。

ヨハネによる福音書にはイエス様がご自分のことを「わたしは世の光です」とおっしゃったことが何回か記されています。三章、八章、九章、十二章からともに振り返ってみましょう。

まずはヨハネによる福音書3章19節からです。聖書をよく知っている学者のニコデモが暗い夜にひとりでイエス様を訪ねました。クリスマスは神様が世を愛して、その独り子である御子イエス様をお与えくださった日です。神様はイエス様によって世を裁くためではなく、世を救うため、イエス様を信じる者がひとりも滅びないで永遠のいのちを得るためにお与えくださいました。

しかし続いてこう記されています。「光が世に来たのに、人々はその行いが悪いので、光よりも闇の方を好んだ。それが、もう裁きになっている。悪を行う者は皆、光を憎み、その行いが明るみに出されるのを恐れて、光の方に来ないからである。しかし、真理を行う者は光の方に来る。その行いが神に導かれてなされたということが、明らかになるために。」光であるイエス様が来られたのに、人々は自分の悪い心や行いが照らし出されて明るみに出るのを恐れます。光を憎み、光を避けます。イエス様は世を裁くためではなく、救うために来られました。それなのに、光であるイエス様よりも人々は闇の中にとどまることを好みます。そして、そうすることで自分の上に裁きを招いています。

イエス様は私たちの罪を赦して、新しい心を毎日作り続けてくださるために来てくださいました。羊飼いはイエス様を訪ねました。しかし町の人たちはイエス様を知りませんでした。町にはその夜イエス様を受け入れる宿屋がなく、イエス様は馬小屋でお生まれになり、飼葉おけに寝かされました。東の国の博士たちは遠くから来てイエス様を訪ねました。ヘロデ王は博士たちにイスラエルの王である救い主イエス様がお生まれになったのはどこですか、と尋ねられたとき、自分の王である立場が危うくなると恐れました。イエス様を無視できず、イエス様の命をねらい、イスラエルでそのころ生まれた男の子を皆殺しにしました。光であるイエス様の誕生を知りながら、心から歓迎し喜ぶよりも、自分の心が照らし出されるのが怖くて闇の方を好む現実があります。

イエス様は罪を赦すため、人々に毎日新しい心をつくり続けるために、世の光として来てくださいました。しかし人々はその意味を悟りません。ある朝、イエス様が人々に静かに聖書のお話をしていました。そこに本来聖書を教えるはずの指導者たちがある女の人を連れてきていきなりイエス様の前に投げ出しました。ヨハネによる福音書八章です。ざわつく人々の中で彼らは「イエスよ、この女は男性と一緒にいた、私たちは姦淫の罪の現場でこの女をつかまえた、聖書にはこのようなものは石で打ち殺すことになっているが、どうするのか」、と詰め寄りま

した。突然捕らえられたかと思うと人々の前に恥ずかしい姿をさらけ出すことになり、刺すような視線の餌食となった女性にイエス様は視線を注がず、指で地面に何かを書いておられました。彼らがしつこく問うので、イエス様は身を起こして、「あなたたちの中で罪を犯したことの無い者が、まず、この女に石を投げなさい。」と言われ、再び身をかがめ地面に書き続けました。年長者からひとりまたひとり立ち去って、その女の人だけが残りました。イエス様は身を起こして「婦人よ、あの人たちはどこにいるのか。だれもあなたを罪に定めなかったのか。」と尋ねると、「主よ、だれも」と答えました。イエス様は「わたしもあなたを罪に定めません。行きなさい。これからは、もう罪を犯してはならない。」とおっしゃいました。そしてその続きにイエス様は「わたしは世の光である。わたしに従う者は暗闇の中を歩かず、命の光を持つ」と言われました。イエス様は世の光として、世を裁くためではなく、世の罪を赦して、新しい心を毎日作り続けてくださるために来てくださったのです。これまで人生の暗闇を手探りで歩いていたこの女性を、イエス様は辱めることなく、確かに赦してくださいました。そして、それから罪の誘惑に打ち勝って、あたらしい生活を立て上げる心を毎日新たに作っていただきました。

続くヨハネによる福音書九章では生まれつきの盲人の方が登場します。一度も光を見たことのない方でした。弟子たちはなぜこの人はそんな風に生まれたのか、とイエス様に尋ねました。イエス様はお答えになりました。「本人が罪を犯したからでも、両親が罪を犯したからでもない。神の業がこの人に現れるためである。わたしたちは、わたしをお遣わしになった方の業を、まだ日のあるうちに行わねばならない。だれも働くことのできない夜が来る。わたしは、世にいる間、世の光である。」イエス様はこう言ってその人の目が見えるようにしてくださいました。世の光として来てくださったイエス様は、世におられる間、世の光として神様のみわざをしてくださいます。イエス様が見えるようにしてくださいます。イエス様は無防備なこの盲人の方を辱めることなく、やさしくあたたかく癒してくださいました。

イエス様はそのあとヨハネによる福音書十二章で「一粒の麦は、地に落ちて死ななければ、一粒のままである。だが、死ねば、多くの実を結ぶ」と言われ、十字架にかかってご自分のいのちを私たちのためにお与えくださることを約束なさいました。姦淫の現場でとらえられたあの女性を赦すことができたのも、生まれつきの盲人の目を癒し、その原因はこの人の罪でもない、両親の罪でもない、と罪を赦すことができたのも、イエス様が世の光としてご自分のいのちを私たちのためにお与えくださり、私たちのために十字架にかかって死を遂げてくださることに裏付けられています。

イエス様は更に 12 章 36 節以下で言われます。「光は、いましばらく、あなたがたの間にある。暗闇に追いつかれないように、光のあるうちに歩きなさい。暗闇の中を歩く者は、自分がどこへ行くのか分からない。光の子となるために、光のあるうちに、光を信じなさい。・・・わたしを信じる者が、だれも暗闇の中にとどまることのないように、わたしは光として世に来た。」

クリスマスは世の光として来られたイエス様を喜ぶ日です。人は表面的には明るい光を喜びます。なかなかないことですが、自分が光をあびることも気持ちのいいことです。人々からお礼

を言われたり、すごいですね、と言われて、脚光をあびてほめられたりすると照れくさく晴れがましい幸せを体験します。けれども、罪びとである私たちはすべてをご存じである神様からの光から反射的に遠ざかります。自分の罪が自分にも神様の前にも顕わにされることを恐れて、自分を守り、光よりも闇を好みます。

しかし聞いてください。光は闇の中で輝いています。私たちが暗闇にとどまることのないように、イエス様は光として来てくださいました。私たちの罪をあばき裁くためではありません。私たちに罪の赦しと新しいいのちを与えるためです。イエス様は世の光として、私たちに裁くためではなく、私たちの罪を赦して、罪に打ち勝ち、人を恐れず、自分に与えられた持ち場で人々と共に人として育てられていく新しい心を、毎日新しく作り続けてくださるために来てくださいました。

クリスマスの今日、イエス様は、私たちにイエス様の約束に信頼する信仰の灯を点火してくださいます。世の光であるイエス様を信じて、罪赦されたものとして、まっすぐな心で安心して歩んでまいりましょう。損得で動き、楽をして、人に動いてもらう毎日ではなく、計算を超えて人に役立ち、幸せをともにわかちあい作り出していく光の子どもとして、イエス様という希望を掲げて歩んでまいりましょう。イエス様は、私たちの罪を赦し、私たちに新しい心を毎日作り続けるために来てくださいました。クリスマスは光にあふれています。クリスマス、おめでとうございます。お互いにご挨拶をしましょう。クリスマス、おめでとうございます。

「光は暗闇の中で輝いている。」ヨハネ 1:5

人知をはるかに超えた神様の平安が、あなたの心と思いをキリスト・イエスにあって守ってくださいます。アーメン

讚美歌：98 あめにはさかえ

- | | |
|---|--|
| 1 「あめにはさかえ み神にあれや
つちにはやすき 人にあれや」と
みつかいたちの たたうる歌を
さきてもろびと 共によろこび
今ぞうまれし 君をたたえよ | 2 さだめたまいし 救いのときに
かみのみくらを はなれてくだり
いやしき賤（しず）の おとめにやどり
世びとのなかに 住むべき為に
今ぞうまれし 君をたたえよ |
|---|--|

祝祷

後奏